

上三川町第8次総合計画ワークショップ報告書

令和7年2月

1 上三川町第8次総合計画ワークショップの実施概要

(1) 目的

上三川町の新しい総合計画の策定にあたり、上三川町がよりよいまちになるための町民のみなさんのアイデアや意見を語り合ってもらうことを目的とし、実施しました。

(2) 開催概要

	第1回	第2回
開催日時	令和7年1月25日(土) 14時~16時	令和7年2月15日(土) 14時~16時
開催場所	ORIGAMI プラザ学習室2	
対象	町内在勤在住の15才以上の公募による	
参加人数	7名	7名
内容	・上三川町総合計画の説明 ・ワークショップの実施 【テーマ①】 上三川町の良いところを町外の人に自慢するとしたら？ 【テーマ②】 10年後の上三川町はどんなまちになってほしい？	・ワークショップの実施 【テーマ③】 将来のまちの姿を実現するために取り組むべきことは？ (※「町がやるべきこと」は？「町民がやるべきこと」は？ 「その他団体、企業がやるべきこと」は？)

(3) 実施概要

2グループに分かれ、模造紙とふせんを用いたワークショップ形式で実施しました。

- ①テーマに沿って会話をしながら、思いついたことやアイデアをふせんに記入。
- ②似ている意見はグループ化し、表題を付ける。
- ③グループごとに話し合った結果や模造紙・ふせんの内容について発表。
- ④最後に「同感」「いいね」と思う意見やアイデアにシールを貼る。

2 上三川町第8次総合計画ワークショップのまとめ

(1) 第1回ワークショップのまとめ

■当日のタイムテーブル

開会のごあいさつ～本日の趣旨	14:00～
ワークショップの進め方について	14:10～
ワークショップの開始…テーマ①、テーマ②	14:20～
各グループの発表	15:30～
同感と思う付箋にシールを貼る	15:45～
終了	16:00



【テーマ①】 上三川町の良いところを町外の人に自慢するとしたら？

テーマ①についてあげられた意見・アイデア等は3～4ページの通りです。内容を集約し、第2回ワークショップに向けて以下のように整理しました。

- ・ 上三川インター、日産工場などの立地・アクセスの良さ、かみたん号などの公共交通
- ・ 城址公園やしらすぎ神社など歴史・文化があること
- ・ イベントが増えていること
- ・ 公園環境が充実していること
- ・ ORIGAMI プラザ（子連れも利用しやすい）等のインフラ
- ・ 折り紙のまちの可能性
- ・ 自然環境やおいしい農産物が安く手に入ること

【テーマ①】 上三川町の良いところを町外の人に自慢するとしたら？

A 班

アイデア次第で
無限の可能性

立地

インターが近い ●●●	上三川インターが出来た
現実的インター！県央道、国道	新4号がある
田舎すぎない、都会すぎない ●●●	町の発展「何もない町」→「何をつくる？」黒チャー？ ●
可もなく不可もなく	
・交通・便利・平野・災害が少ない ●●	災害が少ない
平野	
日産工場がある	工場が多い、生産性がある
日産が人を抱えている(人を呼んでくれる)	

インフラ

公園が広い ●●	町民税安い、無料希望 ●
図書館が使いやすい	市民税(税金)が安い
幼稚園、保育園が多い	町が旧Twitterやってる
人口5万人、保育園無料	

観光

サンフラワーまつり ●●
イベントがふえてきた
町のイベント、ふるさと納税、おりがみ、デジタル化
上三川城、城跡、公園(歴史がある) ●
城址公園、歴史好き
まんぶく寺(歴史)
ジョイフル本田(DIY楽しい！)

折紙

オリプラ使いやすい！子連れがうれしい！ ●●●●●	折り紙、YouTuberは多い ●●●●
おりプラでおりがみ、無料でいっぱい折れる ●	子供ターゲット、おりがみ変形成アニメおもしろい(動き大事)やってみみたい ●●
オリガミ	アニメを作る。舞台(おりがみ、しらすぎ神社、大企業誘致)
ORIGAMI	朝ドラ舞台
折紙サイクロン	吉澤章さん、折り紙
松坂桃李 戦隊ヒーロー「おりがみ」	

自然&農業

野菜安くてうまい。いちご、とちあいか、大根、ネギ、白菜 ●●	芋ノわスイーツ、手土産あり！ ●●●	麦畑 ●
野菜タダでもらえる ●●	かんぴょう ●	麦畑、ひまわり畑、景色
トマトがおいしい ●	アスパラガストレッシング、ジャム、黒チャーハンなぜ？	自然自慢、コンテンツ何もない？
いちご農家が多い、もらえる	黒チャーハン	農家さんが多い、若い
野菜の生産量が多い		

【テーマ①】 上三川町の良いところを町外の人に自慢するとしたら？

B 班

食べ物

いちご ●●●

かんぴょう

黒チャーハン

イベント

かみのかわティーパーティー ●●●●

ふくしま祭り(イベントが多い) ●●●●

キャンドルナイト ●●

ひまわり畑、サンフラワーまつり ●●

しらさぎマラソン ●●

場所

ORIGAMIプラザ ●●●●●

むかしなつかし館 ●●●●

しらさぎ神社 ●●●

城址公園 ●●●

蓼沼親水公園 ●●

やしお幼稚園 ●●

菊屋 ●●

EGAOMART ●●

ジョイフル本田 ●●

魚浜 ●●

ホテル ●

オリガミプラザはWi-Fiつなげる ●●

役場の方の対応がいい ●●

アクセスが良い ●

かみたん ●

かみたん号 ●

おりがみの町 ●

【テーマ②】 10年後の上三川町はどんなまちになってほしい？

テーマ②についてあげられた意見・アイデア等は6～7ページの通りです。第2回ワークショップに向け、10年後をイメージした「将来のまちの姿」として次のア～エの4つの将来像を設定しました。

テーマ②であげられたキーワード

「朝市・マルシェ」などのイベント、「カフェ・本屋」、「生沼家」、「上三川城」、「道の駅」などの文化施設・拠点、「折紙ワークショップ」 etc..

↓

例えば… ア. 農産物や歴史・文化を活かしたイベント・拠点の充実したまち

テーマ②であげられたキーワード

「バスの充実」や「交通安全」、「電灯の整備」など防犯環境、「遊具のある公園・こども施設が多い」など子育て環境 etc..

↓

例えば… イ. 交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち

テーマ②であげられたキーワード

「世界折紙選手権」、「折紙 YouTuber」「技能実習生」と連携、「海外姉妹都市」(英語教育)、各種イベント開催、etc..

↓

例えば… ウ. まちづくり資源を活用した国内外の交流が豊かなまち

テーマ②であげられたキーワード

「飲食店」や「書店」、「カフェ」などの商業環境の充実、「給食費無料」「町独自支援」など子育て支援の充実、「公園・プール」などこどもの遊び場の充実、「古家のリノベーション」など移住者・若者向け住まいの整備 etc..

↓

例えば… エ. 若い世代の住みたい、暮らしたいを叶えるまち

【テーマ②】 10年後の上三川町はどんなまちになってほしい？

A 班

イベント系

- 毎週朝市がある ●●●●●●●●
- 生沼家が交流地点になる ●●●●●
- カフェや本屋さんがたくさんある ●●●●●
- 美術館 ●●●●
- マルシェがいっぱいある ●●
- 上三川城の歴史史料館がある ●
- 新鮮で安い野菜を農家さんから買える
- 上三川城で勝姫まつりをやる ●

道の駅

- 折り紙ワークショップ(外国人、子供、バス待ちの人など対象) ●●●●
- 道の駅から宇都宮駅、雀宮駅、石橋駅へ ●●
- 折り紙ワークショップが道の駅上三川にある ●

折紙

- 世界折紙選手権をやる ●●●●●●●●
- イケメンYouTuberがキラキラ教えてくれる(ラウルみたいな) ●●●●
- 折紙のミュージアムがある ●●
- 子どもも大人も折紙が好き ●
- 折紙のショーレースがある ●
- 上三川町オリジナル折紙がいっぱい ●
- 折紙が文化の町 ●

インフラ

- バス便(10代、70代以上の移動、石橋駅、自治医、インパへ行きたい) ●●●●●
- 遊具のある公園が多い ●●●●
- バス(高校へ通学、石橋駅、朝早く、道の駅から宇都宮駅) ●●●●
- 通学バスがある ●●
- バスがたくさん走っている ●●
- 子ども施設が多い ●
- 電灯がいっぱい ●●●●●
- 交通事故10年0件 ●
- 有料、無料駐車場が増える ●●●●
- 町民無料 ●
- 上三川市 ●

国際交流

- 農業の留学生、帰っちゃわないよな(介護職、看護職) ●●●●●
- 姉妹都市海外で?空港に行きやすくしてほしい ●●●●
- ワールドワイドな上三川町 ●
- 外国人のひととの交流が盛ん ●
- アメリカ人も知っている上三川町 ●

社会福祉

- オムツ無料、保育園無料 ●●●●●●●●
- 古い家をリノベーションして安く貸す ●●●●●
- お金ない若い世代にも住みやすい町 ●●●●
- 交通事故ゼロ ●●●●
- 病院・スーパー(ジョイ本)を巡回するバス(高齢者) ●●
- 20・30代を引っ張ってくる ●●
- 中学校1つに?10年後...部活動活発に!おりがみ部 ●
- 家のリノベーションがしやすい ●
- 日産の社員寮を安く貸す ●
- 嫁、農家に嫁ぐ土地がないので ●
- 家が建てやすい(土地が安い)

【テーマ②】 10年後の上三川町はどんなまちになってほしい？

B 班

場所

オシャレな場所 ●●●●

カラオケ ●●●●

本屋 ●●●●

飲食店 ●●●●

交通機関 ●●●●

焼肉屋 ●●

展示できる場所 ●

デニース ●

支援

高校の周りを発展させる ●●●●

給食費無料 ●●●●

子育て支援 ●●

金銭的支援 ●●

町独自の支援を増やしてほしい ●●

イベントが充実している ●

子どもが増えてほしい ●

遊び場

大きくて長いすべり台がほしい ●●●●●

ウォータースライダーとか遊べる
プールがほしい ●●●●

大きい公園を増やしてほしい ●

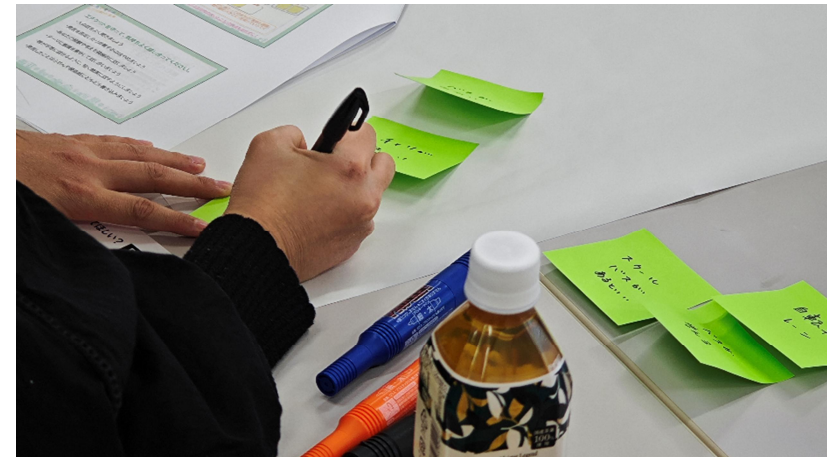
遊ぶ場所ふえる ●●

バッティングセンター

(2) 第2回ワークショップのまとめ

■当日のタイムテーブル

ごあいさつ、第2回ワークショップの進め方	14:00~
・ワークショップの開始(40分)	14:15~
…休憩(5分)、再開(30分)	15:00~
・各グループの発表	15:30~
・同感と思う付箋にシールを貼る	15:45~
・終了	16:00



【テーマ③】 将来のまちの姿を実現するために取り組むべきことは？（※「町がやるべきこと」は？「町民がやるべきこと」は？「その他団体、企業がやるべきこと」は？）

第2回も引き続き2つのグループに分かれ、テーマ②であげられた意見等を基に設定した4つの「将来のまちの姿」の中から各グループ2つ選択してもらい、ワークショップを行いました。具体的には、「将来のまちの姿」を実現するにあたってのまちの「現状と課題」、課題解決や将来に向けて「取り組むべきこと」について、意見やアイデアを出し合い、最後に発表を行いました。



A班のワークショップ結果と発表内容のまとめ

将来のまちの姿：交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち（P10）

「交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち」について話し合った結果、現状・課題として、子連れで遊べる場所がない、国道新4号線が怖い、自転車が怖い、バスが少ないなどの意見が挙がった。どう取り組めば利便性が良くなるかを考えたところ、バスを増やしてもらうという意見が多く出た。税収面の問題も考えるといきなりは無理だと思うので、例えば高校のスクールバスに便乗させてもらったり、難しいかもしれないが、日産に自動運転バスを作ってもらい提供してもらうなどのアイデアが出た。また、電灯が少ないので、電光掲示板で広告付き外灯を作る、税金ではなく、企業のお金で電灯を付けるという案も出た。子育て世帯への取り組みとしては、飲食店などのキッズスペースを増やしてもらうために、町で補助金を出して掲示をするという案も出た。高齢者への対応では、1人で亡くなる人が増えてくるので、共同墓地を町で作る。要はゆりかごから墓場までをやってもらう。また、年をとった時に、おじいちゃんやおばあちゃんのサロンがあったら面白い、楽しいかもという話も出て、皆でのんびり暮らせるホスピスを町で運営してもらうというアイデアもあった。

将来のまちの姿：農産物や歴史文化を活かしたイベント・拠点の充実したまち（P11）

「農産物や歴史文化を活かしたイベント拠点の充実したまち」について話し合った結果、現状・課題として折紙がパツとしないという意見があり、そこで、折紙をどう発展させていくかを考えたところ、アニメを作るのがいいのではないか、という意見が出た。折紙を広めていくために、一番手っ取り早いのがアニメで、YouTube やネットフリックスにあげれば、日本の人は見なくても、もしかしたらアフリカの子どもなど、世界中の人が見てくれればいい。アニメといっても難しく考える必要はなく、例えばポケモンのピカチュウにあたる所だけ折紙にする。しらさぎ神社に子ども達が遊びに行くと、階段で滑って転んだ拍子に目が覚めたら、折紙がついている。助けてと言ったら、おりがみに変形して剣になって助けてくれた、というようなベタなアニメでも、ジャンプなどに連載したら流行るのではないか。「俺あの剣作ってみたい」と、折紙で剣が作れることを海外の子どもたちが知れば、自然と広がっていく。町民やどこかの企業がアニメ化するのではなく、町役場の一部署で取り組み、海外にも配信し、町が稼ぐ。アニメの著作権やグッズの売上など、町で収入が得られれば、税金を減らすことができる。町を会社として考えるという考え方で、町で稼ぐためにアニメをやってみたら面白いのではないかと思う。

おりがみ以外に出たのは朝市。前回も話をしたが、農家の人達を集めて、プラス地域の飲食店とか、雑貨を作っている作家さんたちが一同に介して朝市を毎週土曜日に定期的にやる。続けることで色々な人が他の町から入ってくる状況をつくる。また、しらさぎ神社や上三川城を活かしたイベント。しらさぎロックフェスをやったら面白いのではないかという意見もあった。個人的にメタルが好きなので、しらさぎロックフェスのアイデアは面白いと思った。

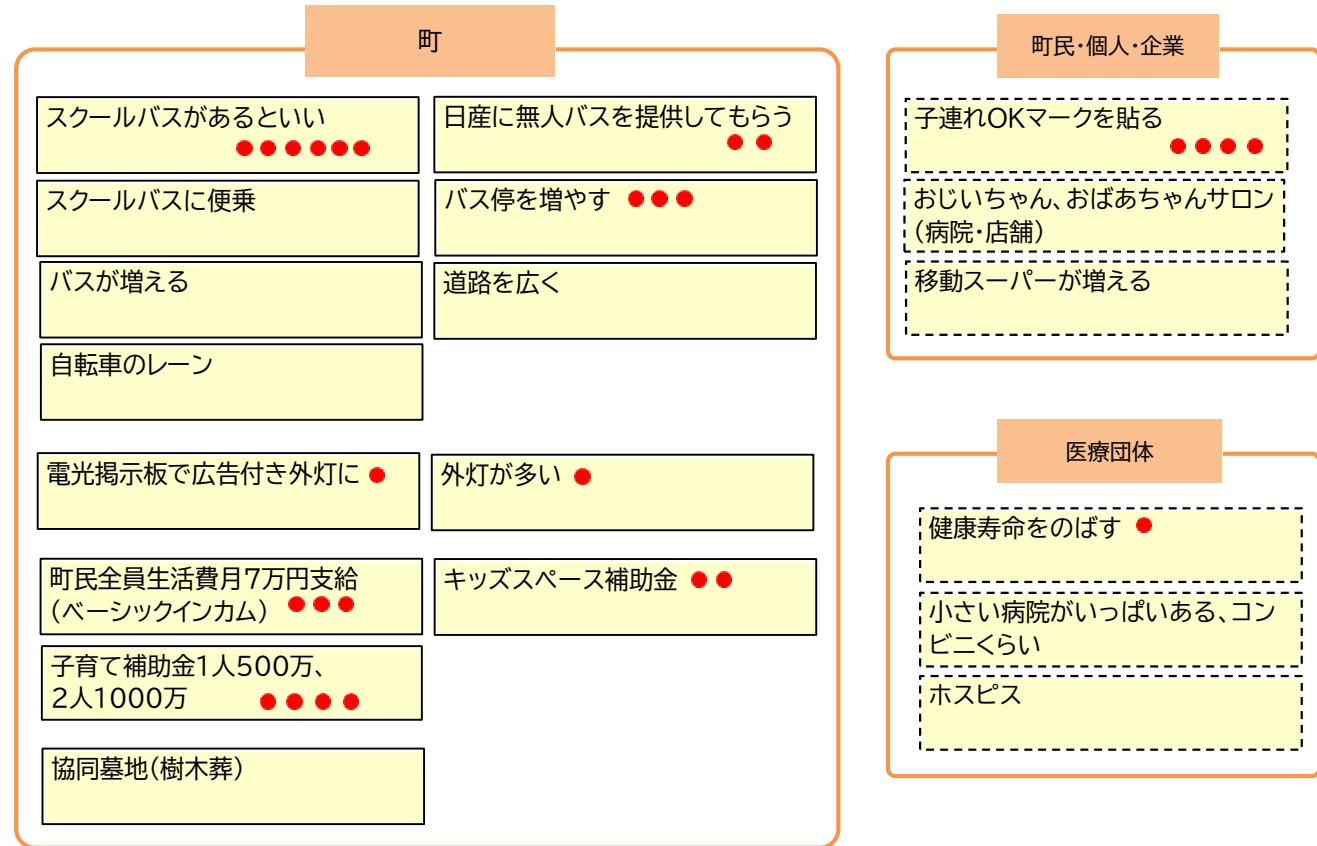
交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち

A 班

現状・課題

- バスが少ない ●
- チャリで30分こげば宇都宮に行ける ●
- 子連れで遊びに行けない
- 新4号怖い
- 外灯がない
- チャリが怖い

取り組むべきこと



※ □ は行政ができること、- - - は町民・企業・団体主体や行政との協働でできること

農産物や歴史文化を活かしたイベント・拠点の充実したまち

A 班

現状・課題

『折紙』いまいちぱっとしない

取り組むべきこと

折紙

折紙が活躍するアニメを町が作る ●●●●●●

専門部署を作る、町のデジタルクリエイティブ部門 ●●●●●●

食べられる折紙 ●●●

折紙とプロジェクションマッピングの融合

マルシェ

マルシェ(定期的に) ●●●●

収穫祭(フード・市場・トマトまつりっぽいやつ) ●●●●

毎週土曜日朝市

イベント

フリーマーケット ●●●●●●

上三川城でお祭り ●●●●●●

しらさぎフェス夏(ロックフェス) ●●●●

コスプレイベント ●●●

しらさぎ神社スタートのスタンプラリー ●●

生沼家で本のイベント

本

古本市 ●●

本に、本を守るための税金をかける

本の税金をなくす

※ は行政ができること、 は町民・企業・団体主体や行政との協働でできること

B班のワークショップ結果と発表内容のまとめ

将来のまちの姿：若い世代の住みたい、暮らしたいを叶えるまち (P12)

「若い世代の住みたい、暮らしたいを叶えるまち」について話し合った結果、現状・課題としては、バスがないこと、前はシャトルバスがあったけれど、利用者が少なくてなくなったことが挙げられ、通学時など自転車だと寒いので、町内に無料バスがあったらいいという意見があった。また、遊ぶ場所がほしいということで、遊ぶにはお金も必要なので高校生のアルバイトをOKにしてほしいという意見もあった。若者が遊んだり居場所にできる場所で、アルバイトができるといいと思った。教育環境では、中学生は英検が無料になるので、高校生も無料にしたらいいという意見もあった。体育館もエアコンを付けたら夏も冬も快適になる。働く環境として、給料を上げて、就職・進学ができるようになると町に人が増えるのではないかという意見も出た。一人暮らしなどで一度町を出ても、最終的に町に戻ってくれば住民税が安くなったりしたら戻ってきやすいのでは、というアイデアもあった。

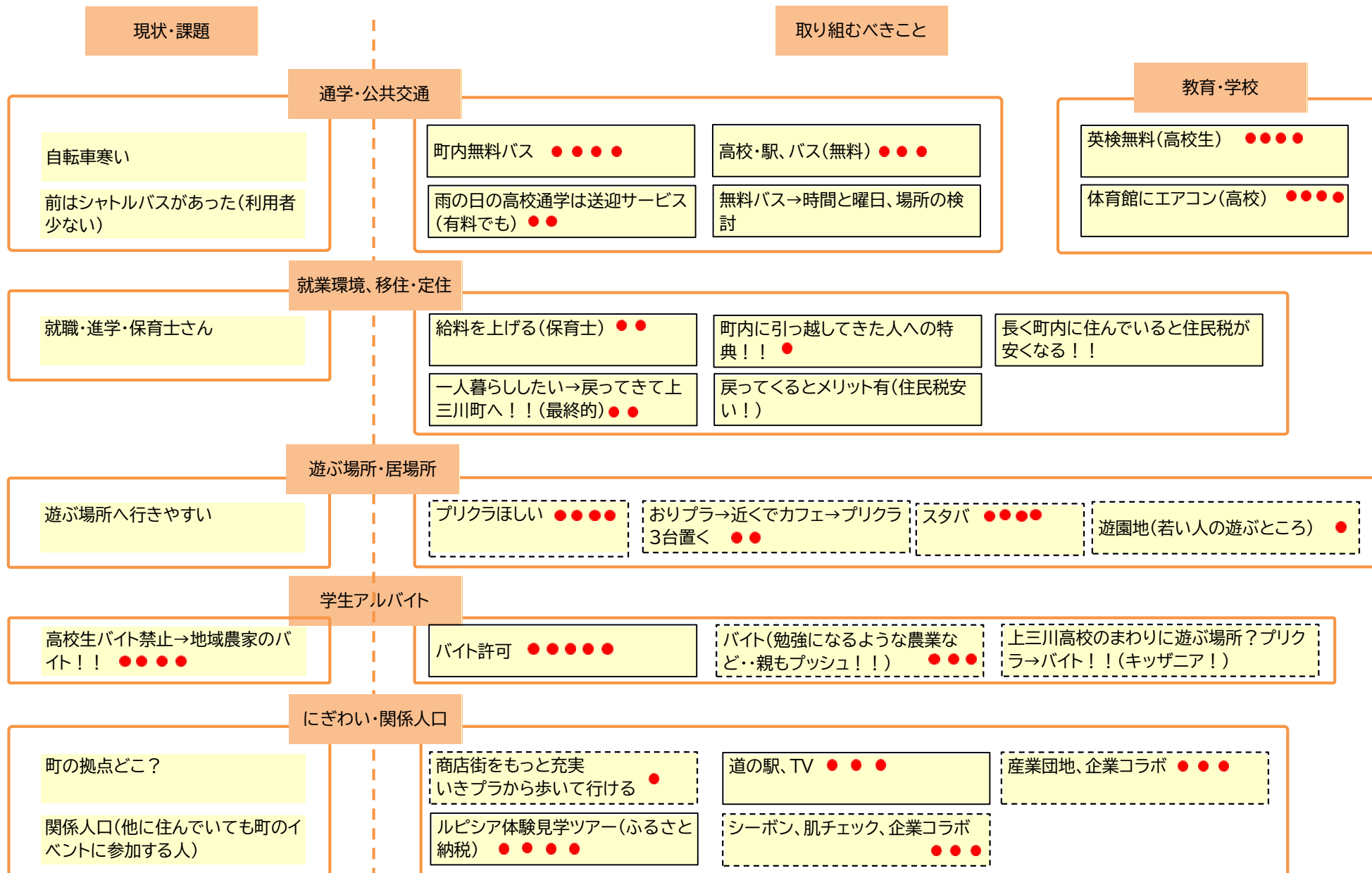
高校生のアルバイトについては、地域に貢献できるような例えば農家のアルバイトや、高校生にお年寄りの見守りに行ってもらうなど、社会勉強になるようなアルバイトを町で募集してくれたら、社会のためにもなるし、お年寄りのためにもなる。さらにそこで、仕事を引退したばかりの人に子どもが教えてもらえたら高齢者の活躍の場にもなる。そういうアルバイトなら親としてぜひやってもらいたいと思う。

交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち (P13)

「交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち」について話し合った結果、現状・課題として、石橋駅の高架下に不審者が多い、暗いし汚い、といった問題点が挙げられた。取り組むべきこととしては、高架下のお店をつくったり、人が集まる場所をつくるというアイデアが出た。また、自転車の事故が多いので、もっとカーブミラーを付けたらどうか、お年寄りのドライバーの逆走など危険なケースも多いので、免許返納ができる人はやっていただけたら、皆の安全につながるのではないかという意見もあった。さらに、車道と歩道をきちんとわけてほしいという点や、歩道がない道が多いこと、夜道の電灯が少ないこと、悪徳リフォーム業者に高齢者が引っかからないようにしなければいけないなど、安心して暮らせるまちに向けた課題が挙げられた。その他、上三川町の商品券が買いたくても買えないこと、高齢者が家の中で転ばないようにリフォームへの補助があるといい、高齢者の見守り隊があったり、近所付き合いがもっとあるといい、一旦町から出て行ったとしても出戻ってくれば税金が安くなる制度があればいい、4人目の子どもを産むと補助金が出る、または税金が安くなるなど、まちの将来に姿を実現するための意見やアイデアが出た。

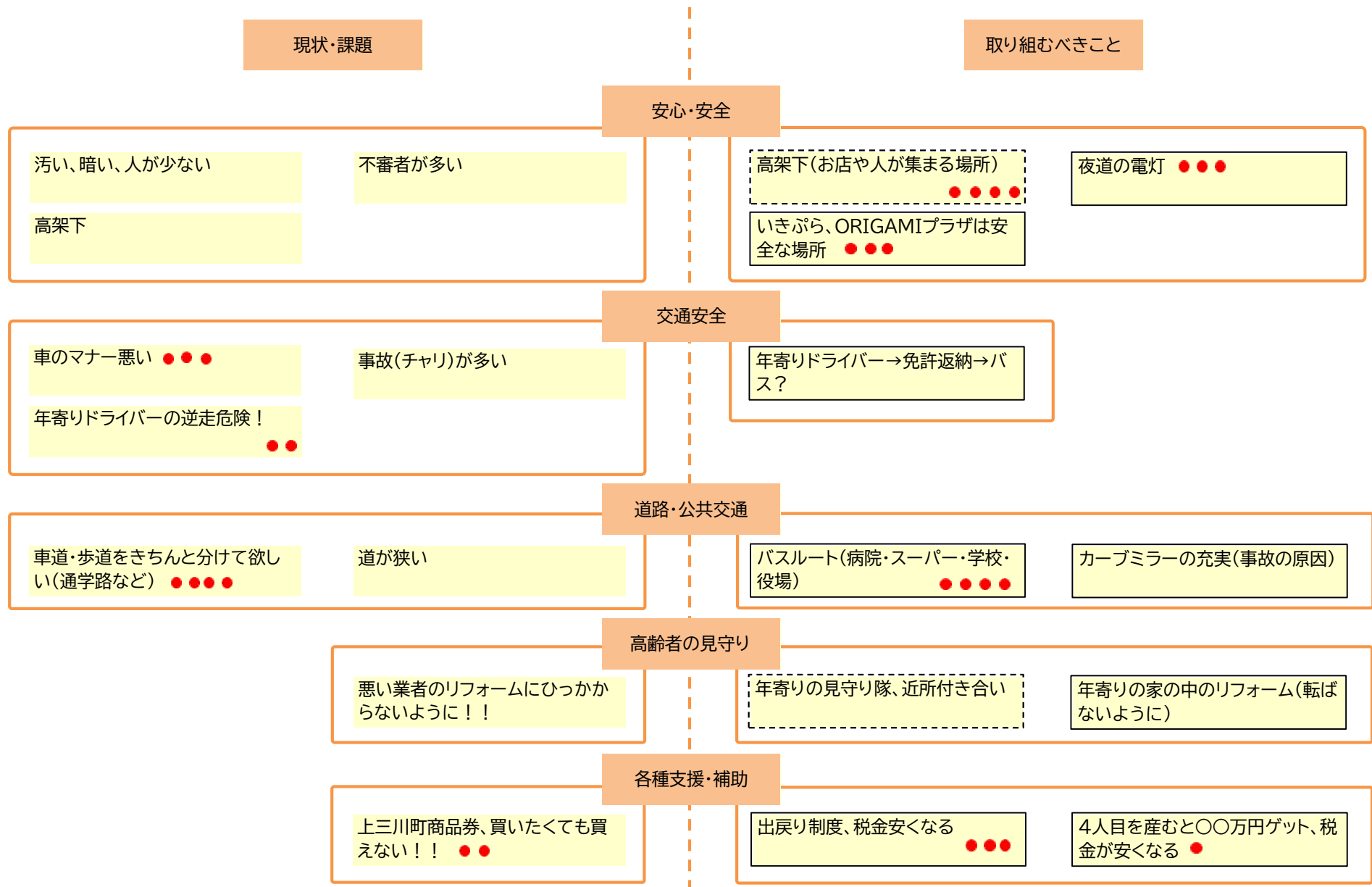
若い世代の住みたい、暮らしたいを叶えるまち

B班



交通利便性が高く子育て世帯も高齢者も安心して暮らせるまち

B班



※ [] は行政ができること、[] は町民・企業・団体主体や行政との協働でできること